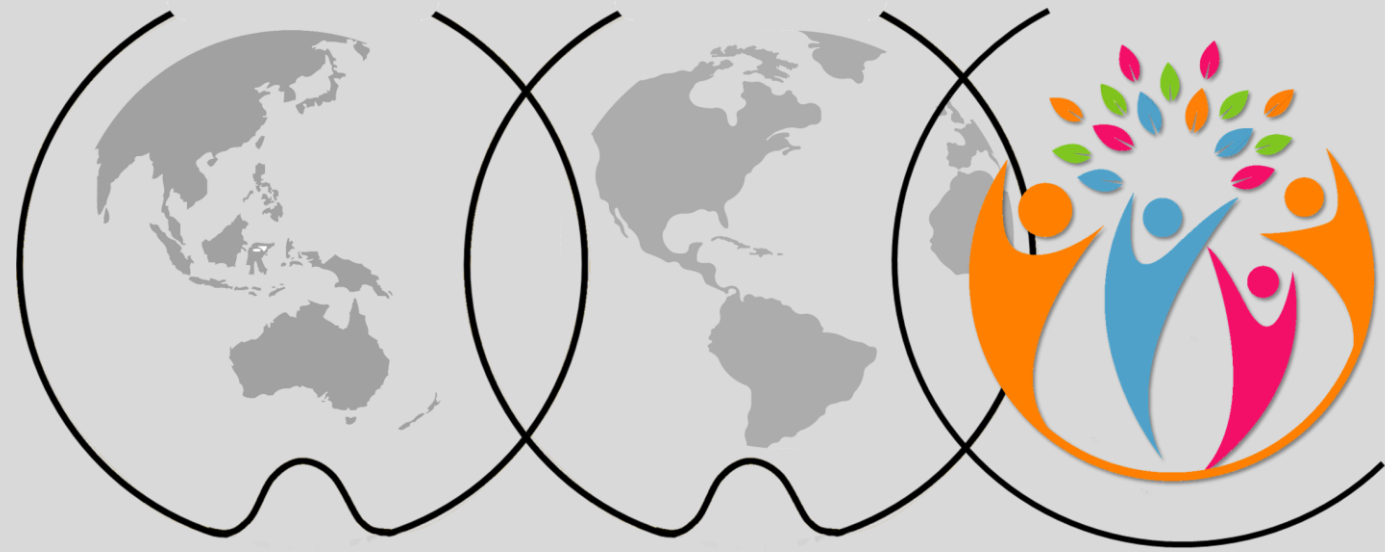


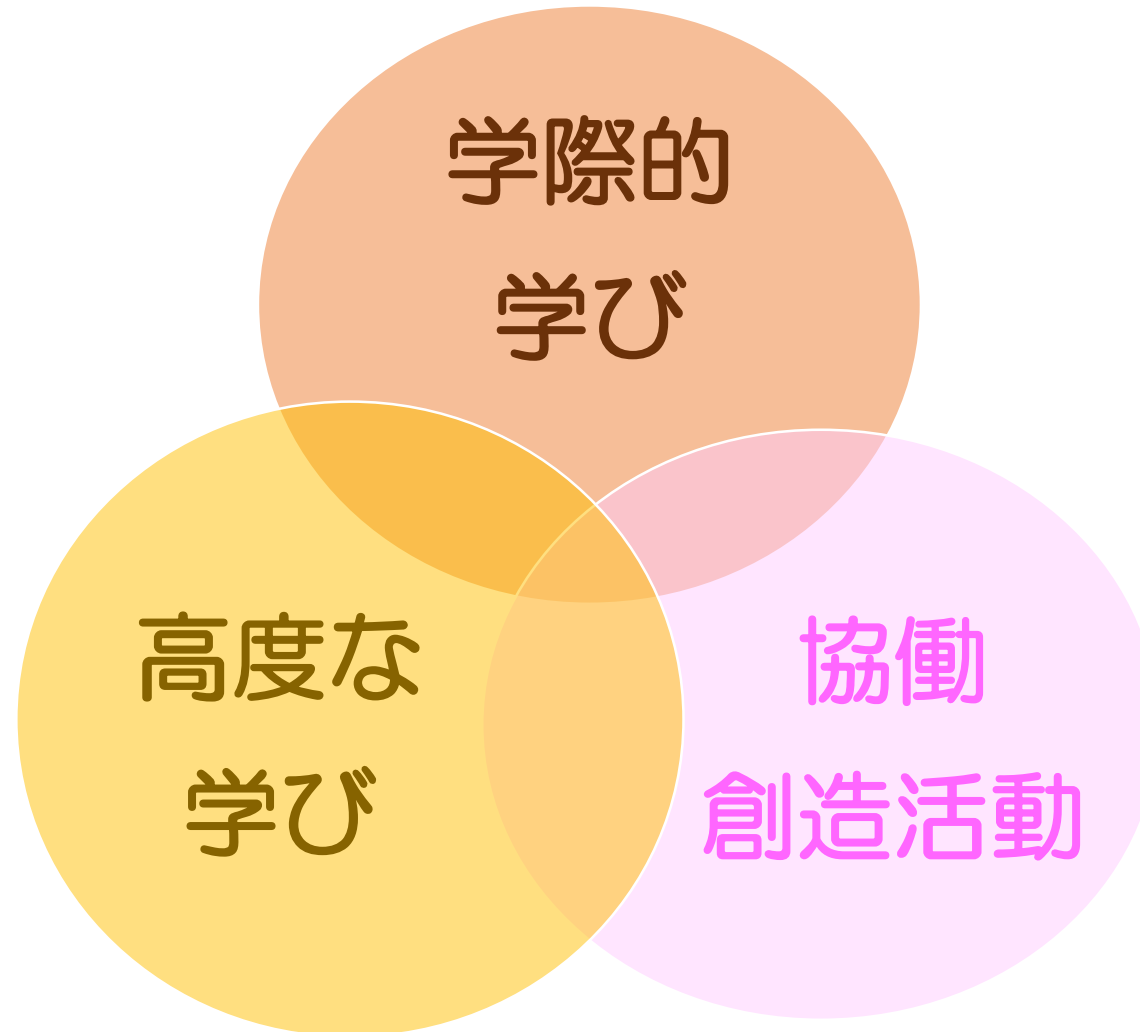
Society 5.2 の  
世界を見据える  
超未来型  
グローバル  
リーダーの育成



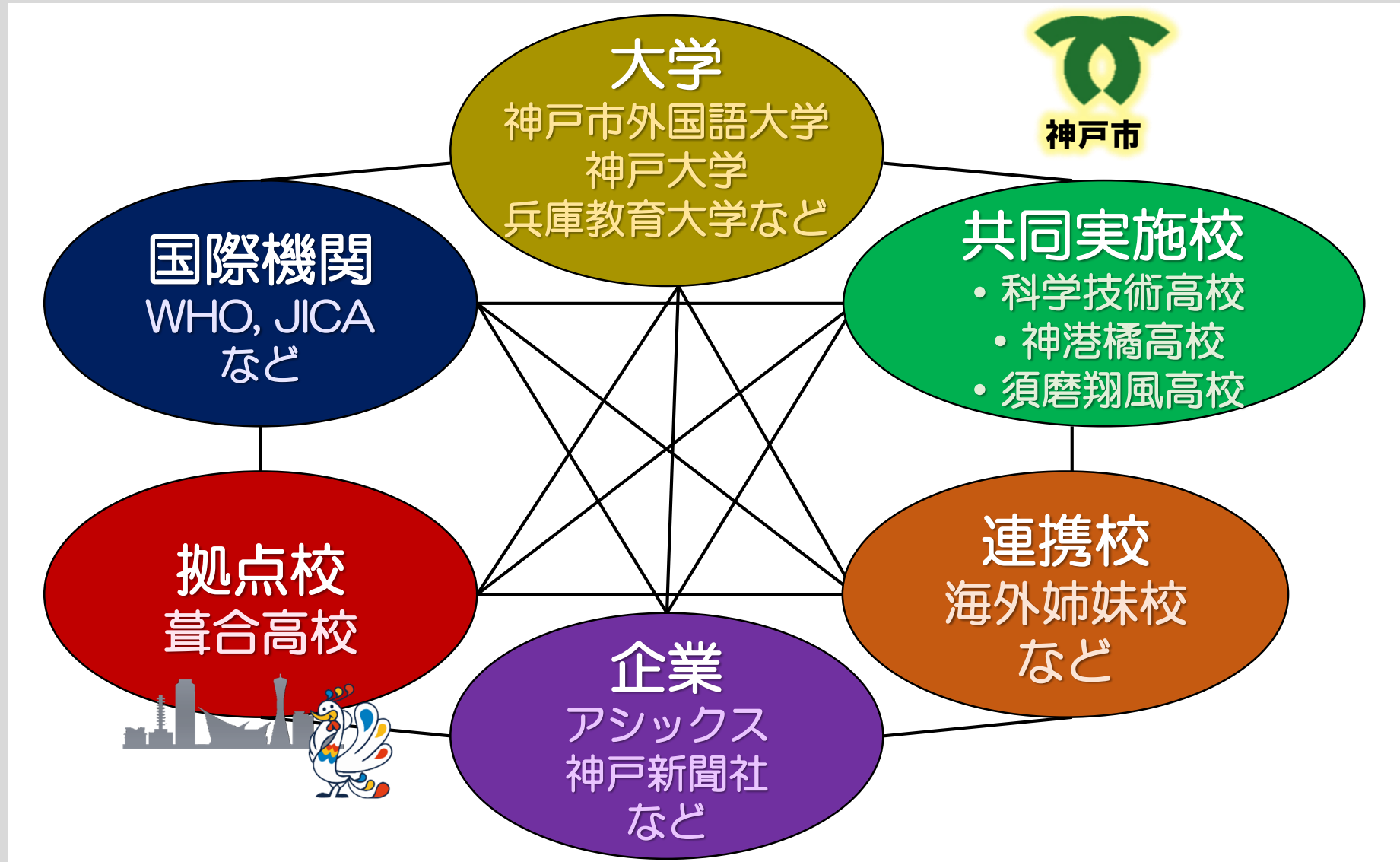
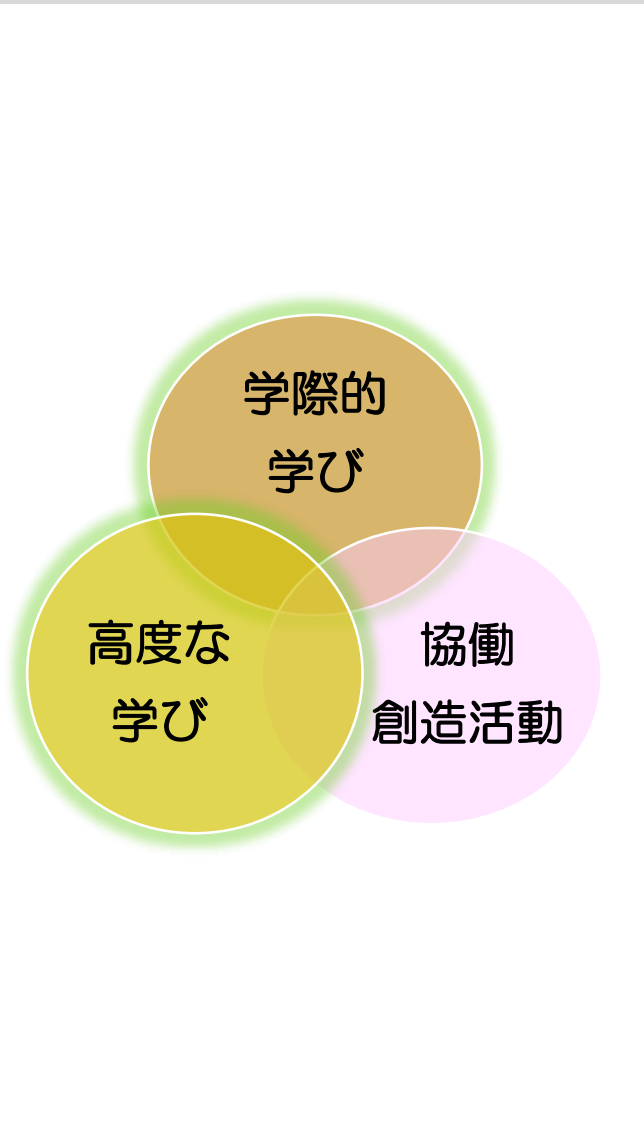
WWL 拠点校 神戸市立葺合高等学校



# 3つの取組



# 組織図



# 拠点校体制 WWL推進委員会



## 構成メンバー（14名）



- ・校長 教頭・3学年主任・広報部長・国際科長
- ・SGH元担当(2名)・学際的科目担当（4名） 養護教諭



## 月1回開催

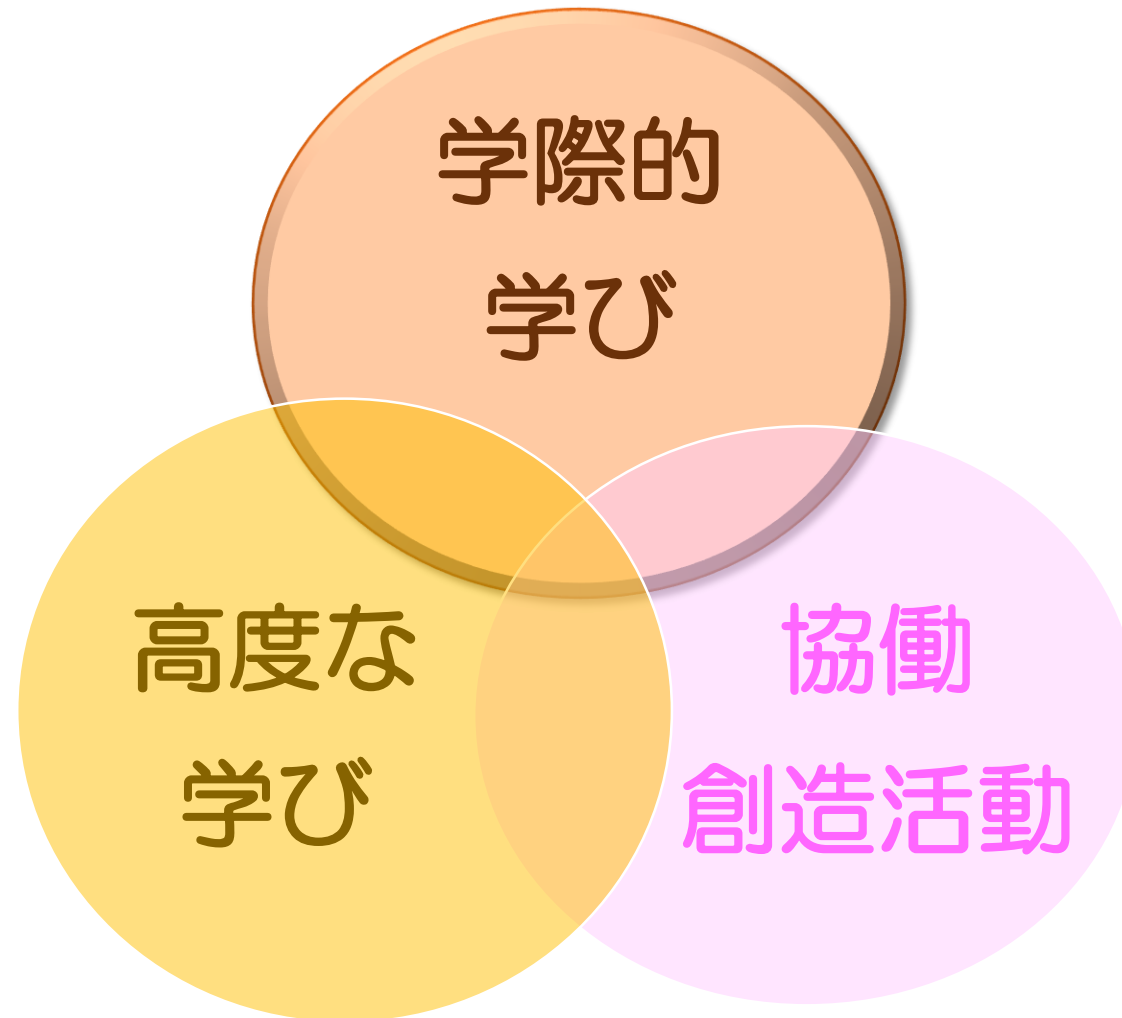
- ・学際的科目
- ・関連事業



## 令和3年度12月より

管理機関担当者参加

# 3つの取組



# カリキュラム開発

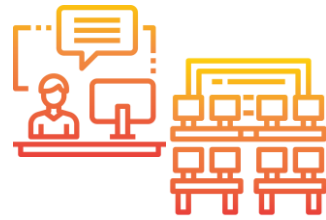
文理融合型学際的科目の設定

学際的  
学び

高度な  
学び

協働  
創造活動

## 情報の科学



1年生必修

- ・グローバルな諸問題を解決する能力の育成：

「データリテラシー」

「メディアリテラシー」

「デジタルリテラシー」

## 家庭基礎



1年生必修

- ・自己の暮らしと世界の課題を結びつけ、新たな価値観や行動を生み出す

外部との連携の推進

(赤ちゃん先生、認知症サポーター等)

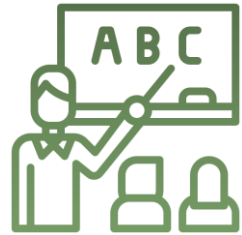


# カリキュラム開発

新規設定科目



## 学際国語



2年生普通科英系・文系必修

- 答えのない現代的課題に対して「問い」を立て、根拠のある仮説を導き出し論証する
- 文理融合をテーマに扱った文章を用いた読解活動

## 学際リサーチ



2年生普通科英系・文系選択

- 新しい価値観を創造する力を複数科目で育成
- 様々な課題に対し、科学的視野、社会的背景を取り入れたリサーチや分析を行う。

# カリキュラム開発



## 学際フードデザイン

3年生文系選択



- 食を通じて国内外の課題に目を向けることで新たな価値観や行動を生み出す
- 外部との連携の推進  
(世界の台所探検家、大学等)

## WWC参加



- 「食を通じた異文化理解」
- スウェーデンとイランの高校生と互いの国の料理を調べ、調理、疑問点を発表
- 課題研究についての意見交換

★普通科生徒初直接参加★



# WWLフォーラム

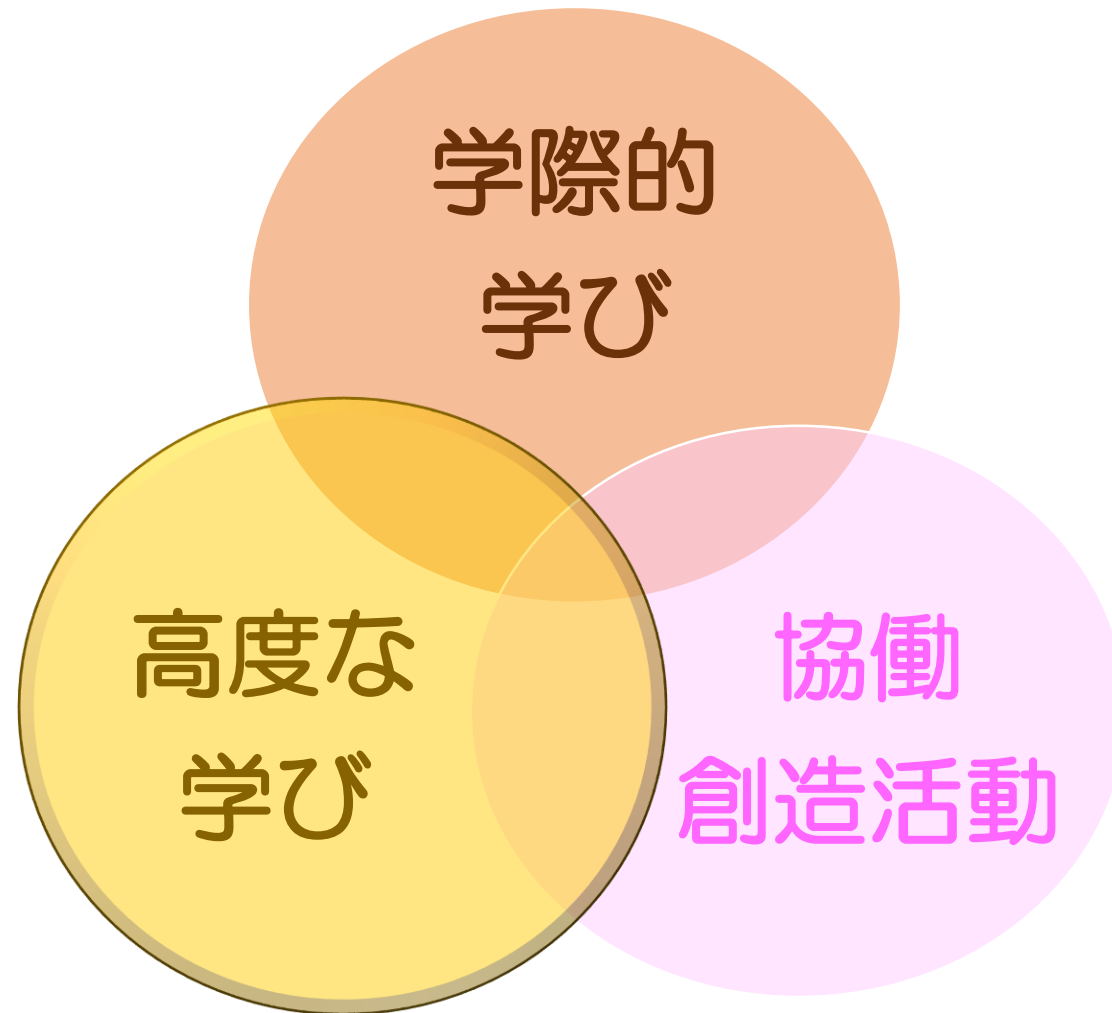
学際的科目公開・探究活動発表交流



年度	科目
1年目	情報の科学 家庭基礎 グローバルスタディーズⅡC
2年目	情報の科学 家庭基礎 学際国語 学際リサーチ グローバルスタディーズIA グローバルスタディーズ2C
3年目	情報の科学 家庭基礎 学際国語 学際リサーチ グローバルスタディーズI グローバルスタディーズ2C

年度	
1年目	神戸フィールドワーク（1年） SDGsに関するディスカッション（国際科2年） 台湾探究発表（普通科2年） バルセロナ派遣事業（国際科2年 科学技術高校3年）
2年目	各学年交流 探究活動（1年）学際国語・学際リサーチ（2年） GSⅢC（3年）課題研究（共同実施校）
3年目	各学年交流（オンライン） 探究活動（1年）学際国語・学際リサーチ（2年） 学際フード・GS3C（3年）課題研究（共同実施校）

# 3つの取組






# 高度な学び

大学や企業による講義やワークショップ



高度な  
学び

	年度	国際機関	国内大学	海外大学	企業	自治体・ NPO他	計
	1年目	3	13	6	1	9	31
	2年目	2	10	3	2	13	30
	3年目	2	7	1	6	19	35

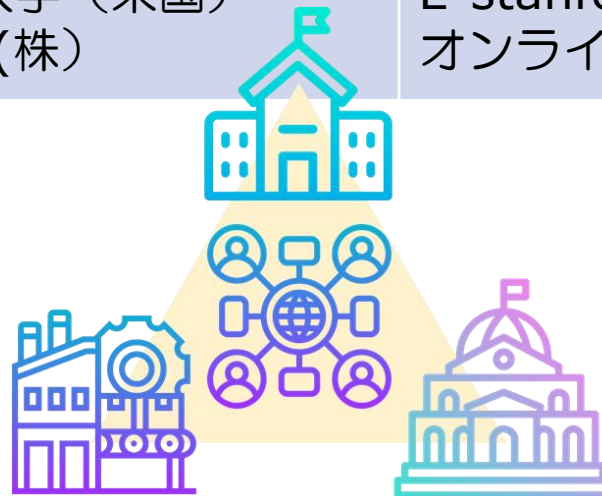
# 高度な学び



産官学連携の推進



年度	連携団体	プロジェクト
1年目	神戸市市民参画推進局×神戸市立小学校	ラグビーワールドカップ交流会
	神戸市企画調整局×スペインバルセロナ市	World Data Viz Challenge 2019 (バルセロナ市開催)
2年目	神戸市企画調整局×みらい翻訳 (株) NTTドコモ (株)	オンライン企業インターンシップ体験 AI翻訳プロジェクト
3年目	神戸市×スタンフォード大学 (米国) 神戸市×With the World(株)	E-stanford Kobe オンライン国際交流 (インドの高校生)



# 課題研究協働



• **カリキュラムアドバイザー**（兵庫教育大学 教授西岡伸紀先生）

拠点校・共同実施校・連携校巡回指導



• **神戸市立高校教員** アプリ開発（科学技術高校→拠点校）



木造建築保存（科学技術高校→拠点校）

障がい者雇用（楠高校→拠点校）

日本語の説明を英語、タイ語への翻訳

（拠点校→科学技術高校）

• **海外連携校教員** 情報リテラシー調査（海外連携校→拠点校）






サイエンスリテラシー調査（拠点校→フィリピン）

# 課題研究交流発表会



共同実施校・連携校・近隣校  
(WWL, SGH, SSH等)

年次	プログラム	参加校数	英語発表
1年目 (対面) 	参加校紹介 パワーポイント発表 ポスタープレゼンテーション (普通科生徒参加) グループディスカッション (普通科生徒担当) 全体会 (カリキュラムアドバイザーによる講評)	11校	10/43
2年目 (オンライン) 	参加校紹介 キックオフプレゼンテーション ショートプレゼンテーション グループディスカッション (共同実施校生徒担当) 全体会 (カリキュラムアドバイザーによる講評)	12校	12/37
3年目 (オンライン) 	参加校紹介 キックオフプレゼンテーション PPTプレゼンテーション (生徒による進行) グループディスカッション (専門家による助言) 全体会 (カリキュラムアドバイザーによる講評)	14校	7/30

# グローバル協働創造活動

## 高校生国際会議（カリキュラムに組み込まれた）



年度	1年目（対面）	2年目（対面・オンライン）	3年目（対面・オンライン）
名称	International Conference	WWL International Conference Online	World Wide Conference
テーマ	Local Action for Global Impact	Risk Management	Resilience in Action
基調講演	How to be Global Innovative Citizen 大阪大学 特任教授 川嶋太津夫先生		SDGsにない人間のレジリエンス 総合地球環境学研究所 所長 山極壽一氏
参加国・ 地域	アメリカ・オーストラリア・ス ウェーデン・台湾・フィリピン	オーストラリア・スウェーデ ン・台湾・ドイツ・フィリピン	インド・イラン・オーストラリ ア・スウェーデン・フィリピン
参加校 （国内）		カネディアン・アカデミィ	共同実施校3校 連携校2校

# 1年目

令和元年 7月25日 葦合高等学校 広報企画部

## 2019 Fukiai High School News No. 10

### インターナショナル・コンファレンス開催！



7月11日(木)・12日(金)の2日間、「第1回 KOBE International Conference at Fukiai」を開催しました。今年は、「Local Action for Global Impact」(自分たちの行動で世界に影響を)をテーマに、スウェーデン、フィリピン、台湾、アメリカ、オーストラリアの5つの国と地域の高校生、計10名を招待して、各国の実情を踏まえた発表、そしてテーマ別の討議を行い、それにもとづく解決策を発表しました。

第1日の午前の部は、歓迎セレモニーを行いました。招待校の生徒たちは、国ごとに自己紹介とそれぞれの国の文化・自然、また学校の特色などについて、ステージ上のスクリーンを活用して紹介してくれました。本校の生徒たちは、コーラス部、剣道部、なぎなた部、少林寺拳法部のパフォーマンスや盆踊り紹介などで歓迎の気持ちを表しました。

午後の部は分野別討議を行いました。討議したテーマ・分野は「特別支援教育の向上」(教育)、「高校生のメンタルヘルス」(健康)、「学校の廃棄物問題～電子機器と食品廃棄物問題」(環境)、「ネットいじめ」(人権)、「ファストファッション」(持続可能性)の5つで、参加各校が問題の現状、原因、改善策について発表し、質疑応答を行いました。発表によって明らかになった各国の状況の違いや考え方の違いについて話し合いながら、これからどうすることができるのか議論をかさねました。



# 2年目



令和2年 7月20日 葦合高等学校 広報企画部

## 2020 Fukiai High School News No. 9

### WWL International Conference Online 2020

世界6つの国と地域の高校生がオンラインで繋がり「新型コロナウイルスによる世界危機における国際協力のありかた」について、次の5つの題目に分かれ議論を行います。

1. Communication “情報”【情報感染とリスクコミュニケーション】
2. Economy “経済”【経済打撃と金融支援】
3. Education “教育”【遠隔教育における教育格差】
4. Health “健康”【感染拡大によるメンタルヘルス問題】
5. Human Rights “人権”【家庭内暴力と子ども虐待問題】



1日目は各分野に対する互いの考えを共有し、質疑応答を通し理解を深めます。

2日目は国内外の生徒たちと共に解決策を探ります。

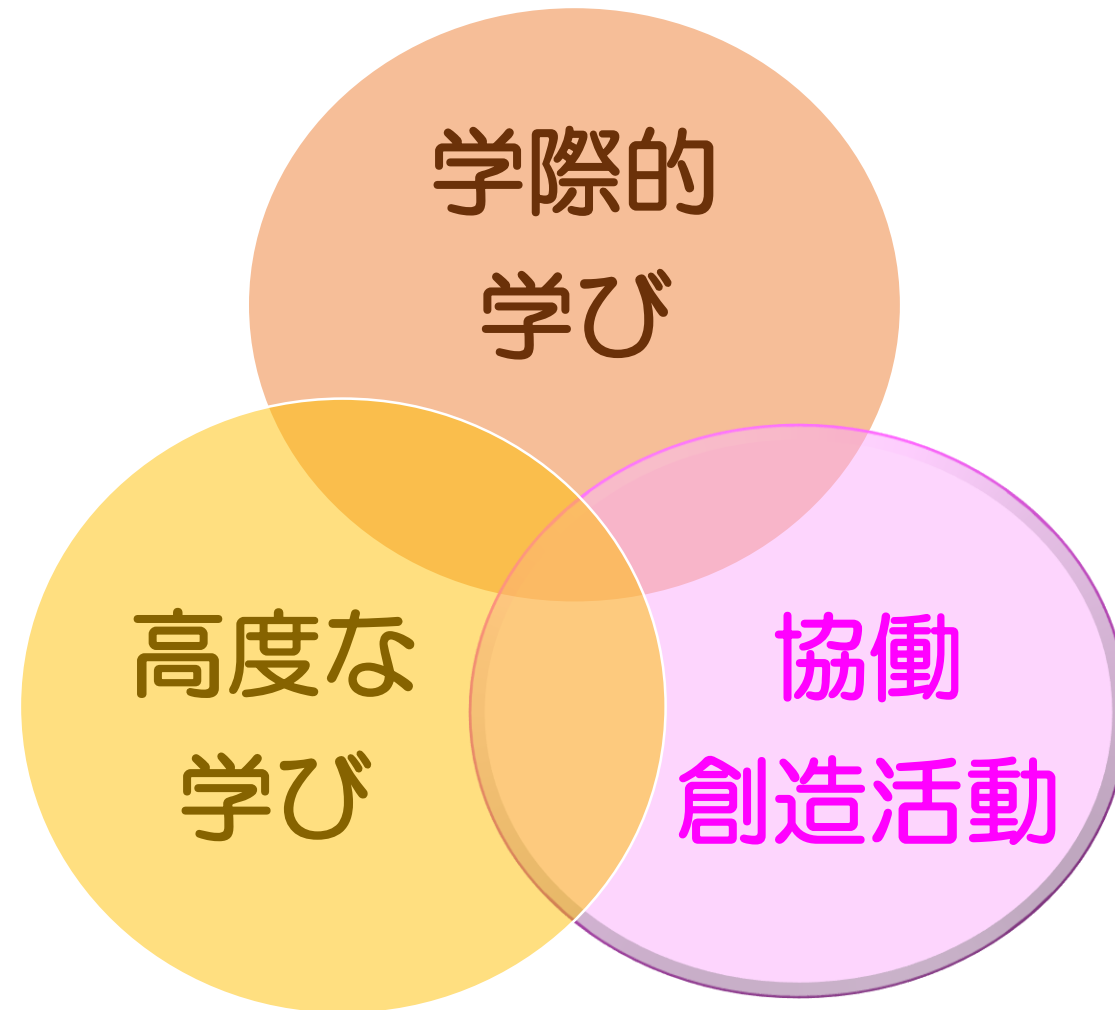
3日目(最終日)は私たちができることということで、各分野に対する提案内容について議論します。

日本だけでなく、世界共通の課題や今自分たちにできる事について議論することで、新しい価値観を創造することができそうです。最終日にはどのような提案が出てくるのか楽しみです。





# 3つの取組



# 3年目



FUKIAI NEWS R3 WWL/ WORLD WIDE LEARNING @FUKIAI

## World Wide Conference

2021/7/14

### DAY 1 AM ~一日目開催~

**内容**

葺合高校を含め神戸市の共同実施校および国内連携校による研究発表・質疑応答

**何をしたの？**

葺合高校は「Resilience in Action」をテーマに、共同実施校や連携校、学年の枠組みを超えて交流しました。

**ポイント！**

- 生徒自身が作成したPowerPointや発表原稿！
- 全員が幅広い分野について問題意識を共有することで、グループでの話し合いが活性化し、より深い学びに！

**DAY 1 PM ~海外との交流~**

**内容**

Communication, Education, Environment, Health, Human Rights, Foodの6つのトピックについて、本校生徒が、オーストラリア、フィリピン、インド、スウェーデン、イランの海外姉妹校および連携校の生徒たちとオンラインディスカッションしました。

**オンラインでも国際交流！！**

**ポイント！**

異なるバックグラウンドを持つ生徒一人一人が、同じテーマに沿って積極的に意見交流ができること。  
☆多くの学びや気づきがありました！

画面に釘付け... 真剣に耳を傾ける生徒達

## World Wide Conference

Day 2 July, 15th @神戸文化ホール

### World Wide Conference

**オープニング**  
神戸市立須磨翔鳳高等学校と太鼓部による太鼓の演奏  
2曲目の「大地」は、阪神淡路大震災の鎮魂と世界平和、未来への希望をコンセプトに書き下ろされた

総合地球環境学研究所所長の山極壽一氏より基調講演  
「人間の進化と文化をコミュニケーションから考える ~SDGにない人間のレジリエンス~」

神戸市教育委員会  
長田淳教育長よりご挨拶

**1. Final Presentation**

<b>Communication</b> Capitalism's Influence on Media 資本主義のメディアへの影響	<b>Education</b> How to Nurture 21st Century Skills 21世紀に必要な能力を育成するには	<b>Environment</b> Waste Generated due to COVID-19 Pandemic コロナ禍における廃棄物問題
<b>Health</b> Shortage of Medical Workers Amid the COVID-19 Pandemic 医療従事者不足による影響	<b>Human Rights</b> Ending Hate Crimes Against Asia アジア人へのヘイトクライムを終わらせる！	<b>Food</b> Understanding Different Cultures through Food 食を通じての異文化理解

**2. Q&A Session**  
会場から活発な質問がなされ、それぞれ代表者が丁寧に回答した

**3. Closing**  
フィリピン、イラン、インドの生徒からオンラインで隔り越りの言葉を聞くことができた  
Speaker: Mei Imoto

# グローバル協働創造活動



## 1年目

### 海外プログラム

- オーストラリア研修 (7月)
- アジアユースリーダーズプログラム (ベトナム) (8月)
- 台湾修学旅行 (12月)

### 来校

- スウェーデン姉妹校(4月)
- オーストラリア姉妹校 (9月)

### 国内プログラム

- 高校生国際交流の集い (7月)
- 神戸コミュニティフォーラム (12月)

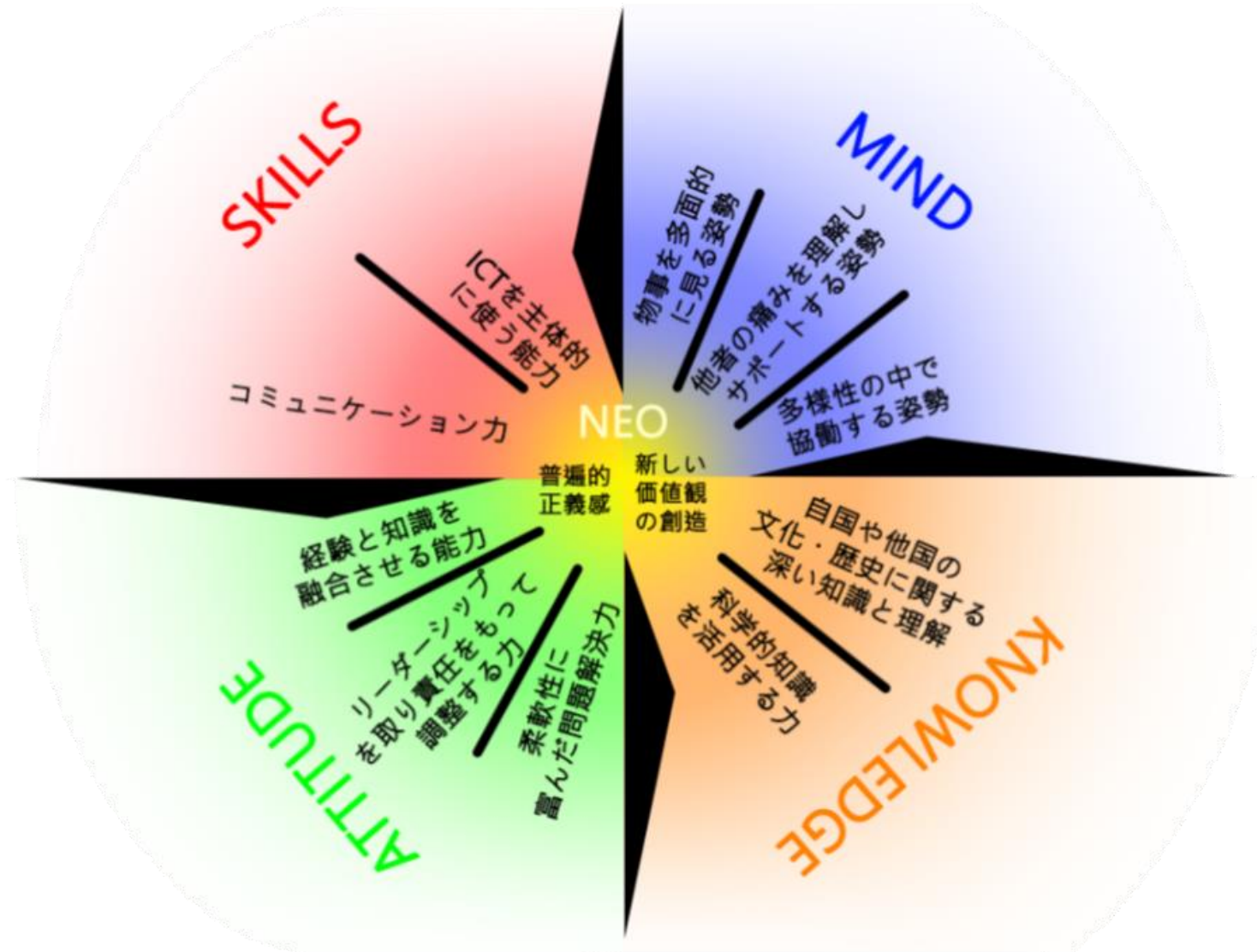
## 2年目

- 高校生国際交流の集い (7月)
- 高校生グローバルスクール (9月)
- 全国高校生SRサミット FOCUS (11月)
- MIND THE GAP (11月)
- アジアユースリーダーズプログラム (12月)
- 神戸コミュニティフォーラム (1月)

## 3年目

- SDGsリーダー育成プログラム (6月-)
- 世界市民明石塾(7-8月)
- 全国高校生SRサミットFOCUS (7月)
- 高校生国際交流の集い (8月)
- SOLA学びのオリンピック (8月)
- 高校生グローバルスクール (9月)
- WOODRISE 2021 (10月)
- グローバルヘルス高校生サミット (10月)
- アジアユースリーダーズプログラム (12月)
- △ (12月)
- The Global Enterprize Challenge (3月)

# Neo MAKS 12の力



1年次 6月2年次 2月3年次 12月に実施

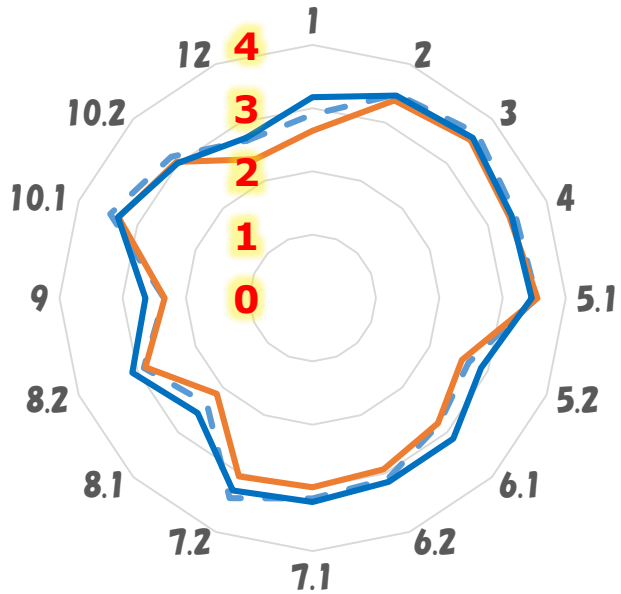
# 質問紙調査

	12の力	項目番号と文面
Mind	① 物事を多面的に見る力	1 物事を様々な角度から見るができる
	② 他者の痛みを理解しサポートする力	2 人には思いやりをもって接している
	③ 多様性の中で協働する力	3 複数の人数で話し合うと（一人より）良い考えが生まれると思う
	④ 経験と知識を融合させる力	4 何か問題が生じたとき、解決するために自分の知識や経験を生か（そうと）している
Attitude	⑤ リーダーシップを取り責任をもって調整する力	5.1 議論の際、自分だけが意見を述べることなく、参加者それぞれの意見を聞くことができる
		5.2 集団での問題解決場面では、率先してリーダー的な役割を担うことができる
	⑥ 柔軟性に富んだ問題解決力	6.1 複雑な問題に直面しても、問題の要点や構造を整理しながら考えることができる
		6.2 問題解決などで、自分のやり方が、目的に合っているのかどうか途中で確認している
Knowledge	⑦ 自国や他国の文化・歴史に関する深い知識と理解	7.1 日本の文化や歴史について興味がある
		7.2 世界各国の文化や歴史について興味がある
	⑧ 科学的知識を活用する力	8.1 科学的に考えたり、調べたりすることに興味がある
		8.2 関心のある事柄について、その問題の本質を発見したり、原因を考えることができる
Skills	⑨ ICTを主体的に使う力	9 ICT(コンピューターやインターネットに関連する情報通信技術)に興味がある
	⑩ コミュニケーション力	10.1 人に伝えるときに、分かりやすく説明しようとしている
		10.2 よく知らない国の人たちと親しくなれる自信がある
Neo	⑪ 普遍的正義感	
	⑫ 新しい価値観を創造する	12 将来、新しい分野を研究したり、新しい産業を創り出したい

# 12の力

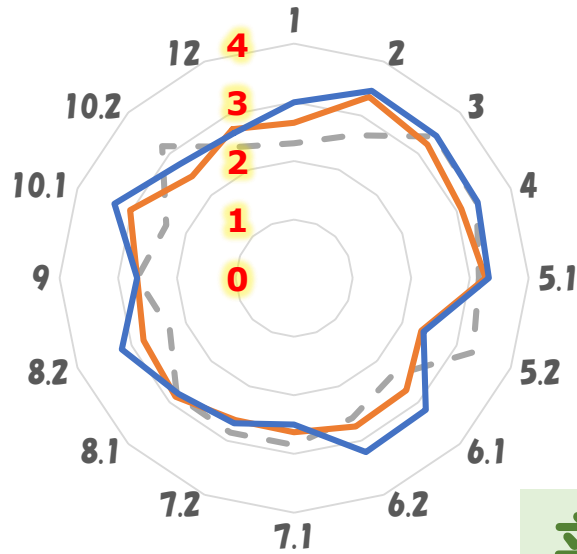
3年間の経年比較

## 国際科

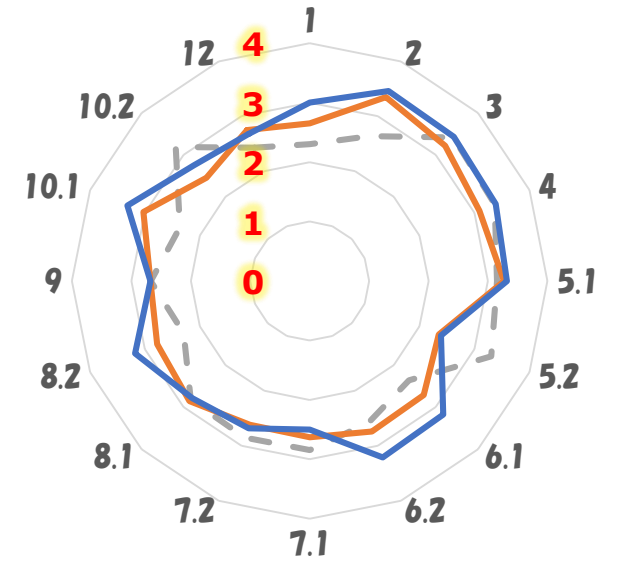


- 1年次国際科
- 2年次国際科
- 3年次国際科

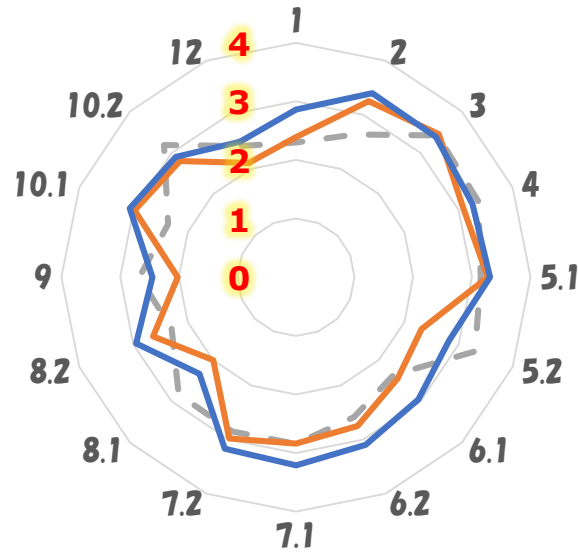
--- 1年次普通科 — 2年次普通科理系 — 3年次普通科理系



## 普通科



- 1年次普通科
- 2年次普通科理系
- 3年次普通科理系

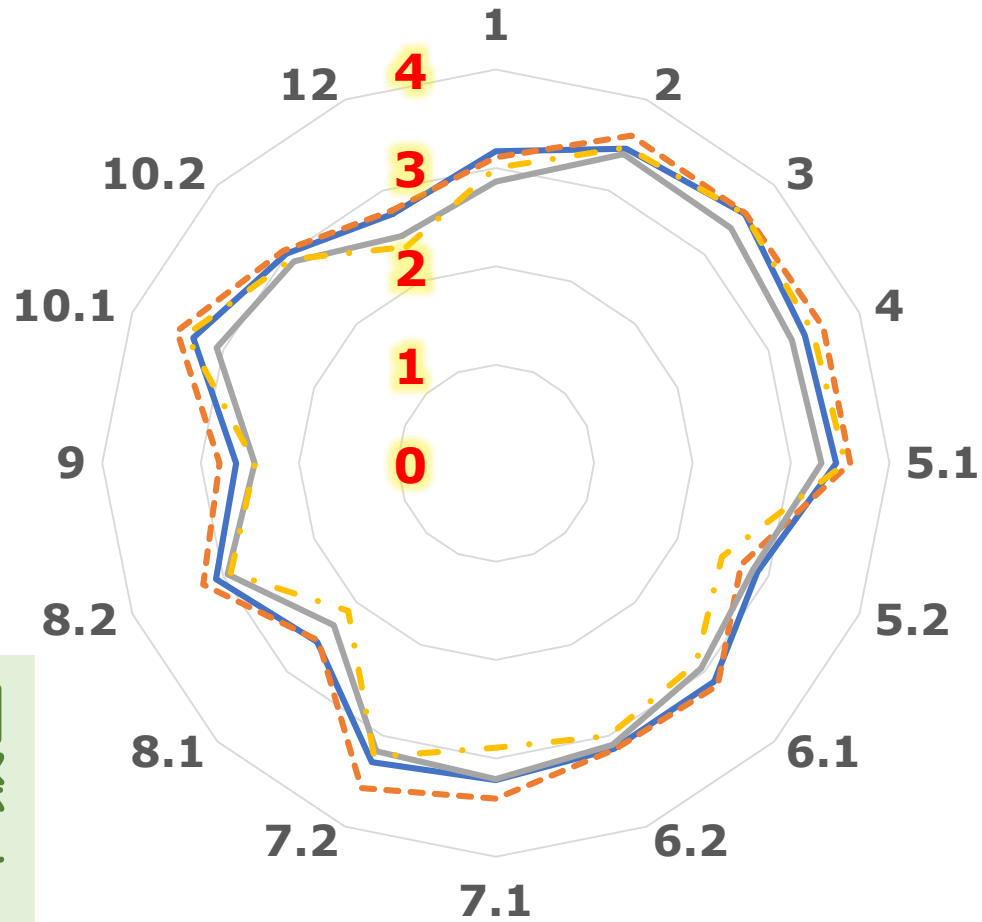


--- 1年次普通科 — 2年次普通科英系 — 3年次普通科英系

# 12の力

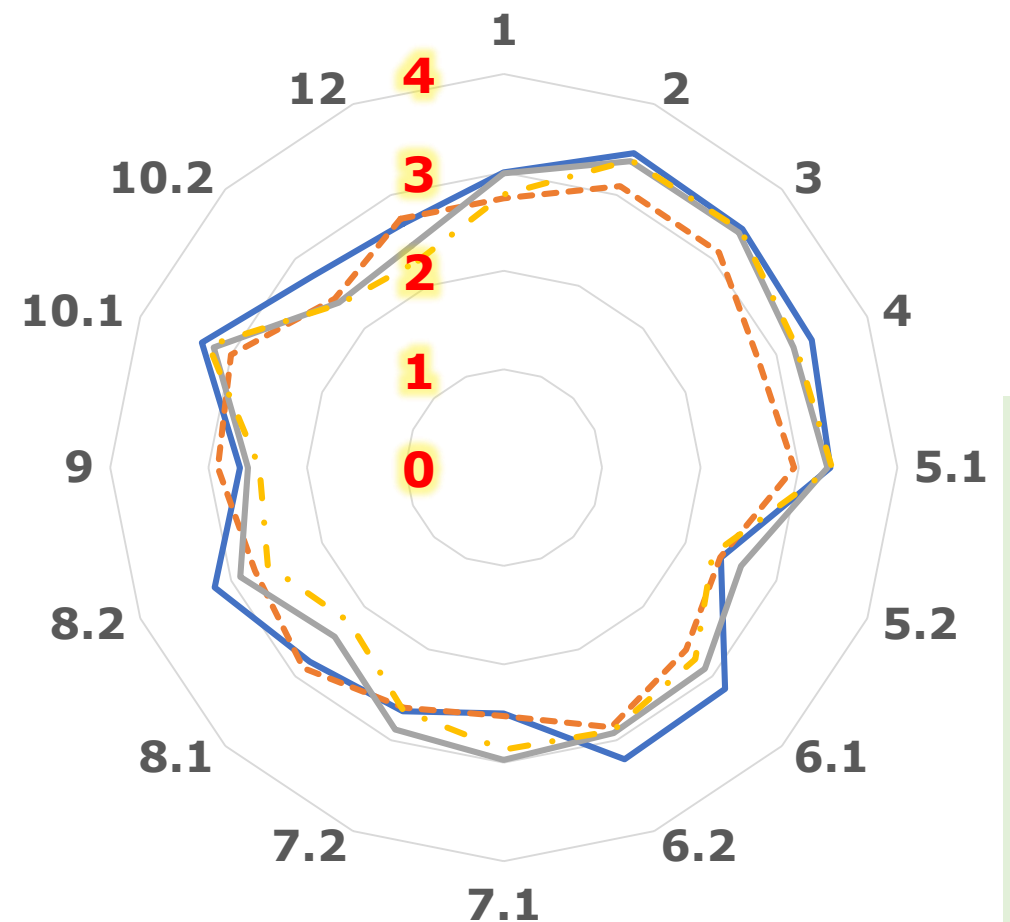


令和2年度卒業生との比較



— R3国際科3年    - - - R2国際科3年  
 — R3英系3年    - . . R2英系3年

国際科・英系



— R3理系3年    - - - R2理系3年  
 — R3文系3年    - . . R2文系3年

普通科（理系・文系）

# KOBE AL NETWORK (仮称)

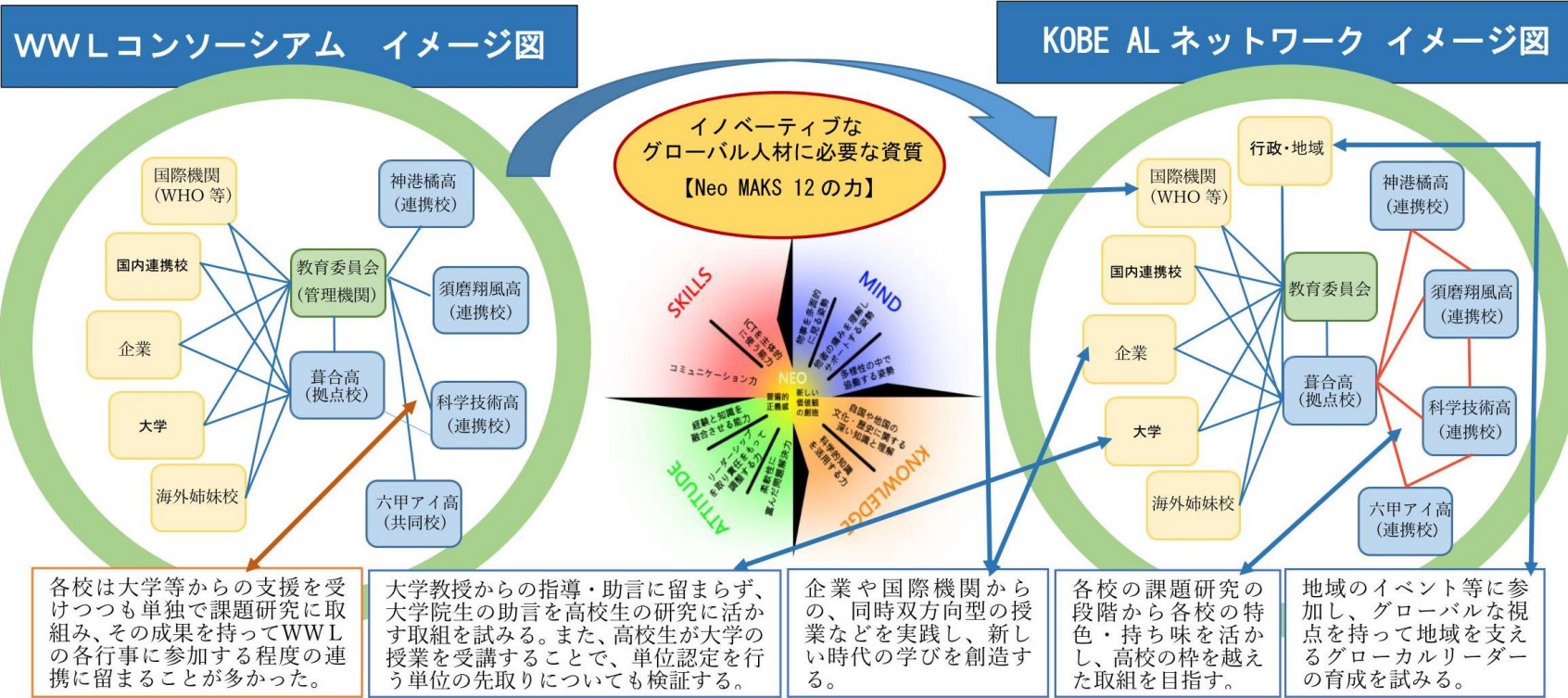


令和4年度予算要求 2,736千円  
 前年度予算額 11,921千円  
 (国庫支出金 8,993千円)

## KOBE AL ネットワーク事業(令和4年度～) ※WWL後継事業

### 事業概要

WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム構築支援事業(令和元年度～令和3年度指定)で目指した「将来、世界で活躍できるイノベティブなグローバル人材」に必要な「Neo MAKS 12の力」の育成に引き続き取り組む。高校、大学、企業等による連携を活かし、特色ある高校の生徒たちが、地域や世界の社会課題の解決に向け、文理横断的に探究的な学びを実践する。成果を共有し、行動を起こすための交流発表会や国際会議等を対面とオンラインを融合して開催する。コロナ禍では実施ができなかった海外フィールドワークを実施し、異なる価値観や多様性に触れる機会を設け、新しい英知や独創性を生み出すネットワークに発展させていく。







# 神戸から世界へ

